

この会は、明倫地区の学校教育、社会教育の振興、教育環境の整備向上に寄与することを目的とする。

明倫校友会報

令和5年度 7月号

明倫校友会事務局
小山町菅沼六二七番地
小山町立明倫小学校
(電話)
〇五五〇七六〇〇六四

SDGsを推進

校友会長 湯山直文



明倫校友会幹事会で、会長湯山直文再任、副会長湯山春樹再任、副会長勝又行雄再任、任期二年で推薦され、五月三十一日に開催された令和五年度第一回理事会(総会)より、校友会の活動がスタートしました。

近頃SDGsという言葉をよく目にします。国連の「持続可能な開発目標」のことですが、地球温暖化による異常気象や資源の枯渇、食料危機や格差拡大など、世界には課題が山積しています。そこで、国連は、二〇三〇年に向けた「持続可能な開発目標」を定め、二〇二五年に採択しました。

校友会事業計画には、「地域を知ろう」という学習への支援があります。これは、SDGsと底流においてつながりがあります。平成三年二月、明倫小学校開校八十周年記念誌に、土屋卓郎校長先生の言葉があります。

「私たちは、小山町や明倫地区のめぐみを受けて育ちました。育ててくれた郷土をぜひ知ってほしいと思います。毎日なにげなく見ている小川も川も田も道も、何百年にわたる先祖の血のにじむような努力でつくられたものです。道端の石神にも、小さな祠にも、先祖

のいのりがこもっています。めぐみ豊かなふるさと明倫は、たゆみない努力を続けた祖先からの贈りものです。みなさんは、将来世界の中の日本人として大きくはばたくのです。そのためにも、自分の故郷を知ってほしいと願ってこの本を作りしました。」

この様な所にSDGsとのつながりが感じられます。

明倫地区には、用水路が網の目の様にめぐり、豊かな実りをもたらせています。里山からは、堆肥材料(落ち葉)や飼料、食料(山菜など)や薬草、屋根を葺くカヤ、燃料(薪炭など)が多彩に昔は農業や暮らしに利用されてきました。エネルギー革命を中心とする農業と生活の近代化は、このような里山の利用システムをすっかり崩してしまいましたが、今また、持続可能な資源利用の在り方として、日本の里山は国際的に評価されています。つまり、昔明倫地区で営まれていた暮らしは、SDGsの最先端をいっていたのではないのでしょうか。

昔の暮らしのエッセンスをつないで、学校・地域の皆さんと一緒にSDGsを前進させましょう。

6/17 校地内整美



教育文化講演会

校長 齊藤浩一



明倫地区の皆様には、明倫校友会(以下校友会)を通じて明倫小学校に物心に渡り多大な御支援を頂いておりますことに感謝を申し上げます。

本年度は、お寄せいただいた校友会費から、アルミ製「かんたんテント(3m×6m)一張と刈り払い機(付属品一式)を購入させていただきました。運動会や明倫まつり、地域行事などで活用させていただきますとともに、二学期の始業式では、校友会の御支援について児童に伝えていきます。

令和五年度の明倫小学校は児童百二十九名、教職員三十二名(非常勤職員を含む)でスタートしました。校訓「学校教育目標は「やる気の明倫子」

(※「やる気」を次の三つの力に整理しました。①やってみようとする意欲 ②実現する力 ③学びを活かす姿勢)

重点目標「自ら進んで活動できる子」発見・協働・チャレンジ」を合言葉に教育活動を推進していきます。よろしくお願い致します。

5/29 運動会



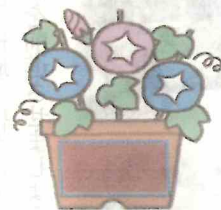
さて今年度、十月二十八日(土)は、明倫小の学校行事「明倫まつり」を午前に実施し、午後からは保護者・地域の方を対象に明倫小体育館で「明倫地区教育文化講演会」を開催します。講師は小山町文化財保護審議会委員長の榎林一美(くればやしかずみ)先生です。榎林先生は、古文書研究の専門家で「小山町史」の編纂委員も務められました。明倫地区に多く残る古文書に詳しく、講演会では宝永噴火からの復興や当時の民衆教育、人材育成などをテーマに御講演いただく予定です。近くなりましたら改めてご案内いたしますので是非御参観ください。

※この講演会は、明倫校友会、明倫地域まちづくり推進協議会、明産会、一般社団法人駿東地区教育協会からの御支援を頂いて開催するものです。

令和5年度 明倫校友会役員

令和5年度 明倫校友会事業計画

役員		事業計画	
役職	氏名	内 容	月 日 曜 備 考
会長	湯山 直文	入学式出席	4月 6日 木 代表理事参列
副会長	湯山 春樹 勝又 行雄	幹事会	4月 25日 火 組織案作成
会計	岩田 幸一 勝又 明日香	第1回理事会(総会)	5月 23日 火 役員報酬の承認 事業・予算の承認 会費納入について
監事	湯山 和行 小林 博保	明倫小運動会	5月 27日 土 理事参観
理事	PTA会長 高杉 勇哉	学校支援ボランティア	6月 17日 土 事業委員会
	校 長 齊藤 浩二	会費徴収	6月 全戸
	教 頭 平松 真美	会報編集委員会	7月 11日 火 会報42号企画
会報編集委員会		会報7月号発行	7月 全戸配布
委員長	勝又 行雄	会報編集委員会	10月 5日 木 会報42号編集
委員	望月 英雄 勝又 栄	明倫まつり	10月 28日 土 理事参観(予定)
	大岩 秀久 湯山 健司	会報42号発行	12月 下旬 全戸配布
	岩田 浩一 平松 真美	幹事会	2月 下旬 正副会長選出 第2回理事会内容確認
事業委員会		会計監査・第2回理事会	3月 5日 火 事業・決算報告
委員長	湯山 直文	卒業式出席	3月 19日 火 理事参列(予定) 卒業記念品贈呈
委員	湯山 春樹 時田 正喜	※上記の他、必要に応じて随時、理事会・委員会を開催する。	
	磯井 吉孝 岩田 幸一	鈴木 教文	
	湯山 伸彦 湯山 和行	渡邊 啓貢	
	岩田 正治 岩田 好弘	森本 明久	
	伊藤 英敏 山口 哲夫	岩田 雄作	
	望月 千秋 小林 博保	平松 真美	
	高杉 勇哉 齊藤 浩二		



令和5年度 明倫校友会会計予算

収入予算総額 633,682 円

1 収入の部

支出予算総額 633,682 円

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
前年度繰越金	25,453	15,580	△ 9,873	前年度繰越金
会 費	623,000	618,100	△ 4,900	700円×883戸
雑 収 入	547	2	△ 545	貯金利息等
合 計	649,000	633,682	△ 15,318	

2 支出の部

項 目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
会 議 費	1,000	4,000	3,000	諸会議費、監査費等
会 報 代	110,220	113,589	3,369	会報誌発行費・差込料
積 立 金	100,000	100,000	0	積立
教育奨励	346,500	337,920	△ 8,580	テント・刈払機
事 務 費	13,000	20,000	7,000	消耗品、通信費等
卒業記念品	69,300	0	△ 69,300	卒業証書ホルダー
卒業記念品積立	0	23,400	23,400	R7年度購入のために繰越
教育講演会費	0	10,000	10,000	明倫地区教育講演会講師謝礼補助
予 備 費	8,980	24,773	15,793	拡大プリンター消耗品費等
合 計	649,000	633,682	△ 15,318	